

日本泌尿器科学会第 192 回熊本地方会 プログラム

日時：平成 28 年 10 月 1 日（土）

15 時 00 分～17 時 50 分

会場：ANA クラウンプラザホテル熊本ニュースカイ 2F 「平安」

住所：熊本市中央区東阿弥陀寺町 2 番地

TEL：096 - 354 - 2111

- ◆地方会終了後、同会場にて 18 時 30 分より第 1 回熊本泌尿器セミナーを開催致します。

<補足>

- ◇口演時間は 1 題につき 7 分、討論時間は 3 分です。
- ◇形式は Windows Power Point に限定させていただきます。
- ◇データは USB メモリに保存し、受付にご提出下さい。
- ◇PC を持参される場合は、専用コード、出力端子用アダプタもご準備下さい。
- ◇前日までに 400 字以内の演題抄録および発表スライドを E メールにて sugiyuta@kumamoto-u.ac.jp までお送り下さい。

◆ 近況報告 (15時00分～15時15分)

◇国立病院機構熊本医療センター

泌尿器科部長 菊川 浩明

◆ Session 1 (15時20分～16時20分)

座長：宮本 豊
(熊本労災病院)

1. 強い男性化徴候を示したアンドロゲン産生副腎腫瘍の1例
前原 遼^{※1} 矢津田 旬二^{※1} 今川 大輔^{※1} 村上 洋嗣^{※1} 山口 隆大^{※1}
河野 吉昭^{※1} 河島 淳司^{※2} 井形 元維^{※2} 狩場 佑一^{※2}
矢野 茂敏^{※3} 荒木 栄一^{※2} 神波 大己^{※1}
(熊本大学医学部附属病院 泌尿器科^{※1} 代謝内科^{※2} 脳神経外科^{※3})
2. 腎腫瘍性病変の確定診断における腫瘍生検の有用性の検討
近浦 慶太 林田 章宏 榊田 裕士 占部 裕巳 三上 洋 福井 秀幸
渡邊 紳一郎 副島 一晃 町田 二郎 副島 秀久 (済生会熊本病院)
3. 尿管ヘルニアの一考察
鮫島 智洋 上園 英太 銘苅 晋吾 二口 芳樹 前田 喜寛
陣内 良映 土岐 直隆 菊川 浩明 (国立病院機構熊本医療センター)
4. ロボット支援腹腔鏡下腎部分切除術 (RAPN) の初期経験
渡邊 紳一郎 福井 秀幸 三上 洋 占部 裕巳 榊田 裕士 林田 章宏
近浦 慶太 副島 一晃 町田 二郎 副島 秀久 (済生会熊本病院)
5. Enzalutamide 使用中、転移性骨病変に salvage radiation therapy を施行したところ PSA の著明な低下を認めた CRPC 患者の3例
中熊 健介 宮前 公一 濱田 真輔 原 一正
木谷 公亮 濱田 泰之 (熊本中央病院)
6. 熊本地震による小児間欠導尿患者への影響
里地 葉 石松 隆志 平山 英雄 (平山泌尿器科医院)
中村 圭輔 桑原 朋広 (熊本市市民病院)
宮前 公一^{※1} 永野 幸治^{※2} (熊本中央病院 泌尿器科^{※1} 小児科^{※2})
甲斐 信幸 津崎 祥一郎 (ひらやまクリニック)

COFFEE BREAK (16:20～16:50)

◆ Session 2 (16時50分～17時50分)

座長：陣内 良映
(国立病院機構熊本医療センター)

7. 中年女性に発症した腎 MEST (Mixed epithelial and stromal tumor) の1例
堤 茂高 今村 隆二 矢野 大輔 川上 茂生 (熊本総合病院)
本多 次朗 (本多胃腸科内科医院)
8. 直腸癌再発病変が尿管内浸潤し、尿路腔内播種をきたした1例
山中 広太郎 脊川 卓也 (天草地域医療センター)
松永 欣也 (熊本泌尿器科病院)
高橋 渡 (健軍熊本泌尿器科)
9. 重複陰茎症を疑われた会陰部副陰囊の1例
富永 成一郎 宮本 豊 (熊本労災病院)
10. 高齢者におけるPVPの安全性・有効性の検討；10年の経験から見てきたもの
野村 博之 内藤 誠二 山口 秋人 (原三信病院)
11. 精巣区域梗塞の1例
結城 康平 佐藤 誠 山崎 浩藏 (山鹿市民医療センター)
12. 温熱化学療法で良好な経過を継続中の去勢抵抗性前立腺癌 (CRPC) 1例
川畑 幸嗣 (鶴田病院)
-

《2015年度 会計報告》 (17時50分～18時00分) 2F 平安
杉山 豊 (熊本大学)

《特別講演 第1回熊本泌尿器セミナー》 (18時30分～19時30分) 2F 平安

座長：阿蘇温泉病院

総院長 下村 貴文 先生

演者：熊本大学大学院生命科学研究部 泌尿器科学分野

教授 神波 大己 先生

『骨転移を有する前立腺癌患者を対象とした医師主導型
臨床試験から学んだこと』

会員証をご持参下さい。

◆地方会参加単位登録手順

参加受付～参加単位登録までの流れ

- 1) 受付にて参加受付を行う。
- 2) 参加証を受け取り、記名欄に記名する。
- 3) 参加単位登録受付にて「会員カード」を呈示し、会員カードの QR コードをハンディターミナルで読み取ってもらう。

※「会員カード」をお持ちでない場合は、参加証の原本をご自身の専門医（初回・更新）認定申請時期まで保管し、申請書類に貼付して下さい。会員カードを作製されていない先生方は、日本泌尿器科学会 WEB サイトの「よくあるご質問」ページ (<http://www.urol.or.jp/other/faq.html>) より、「Q. 初めて会員カードを作製するには…」をお読み頂き、作製頂きますようお願い申し上げます。

【注意】

参加証は、後日 WEB 上で単位が確認できるまで（約3カ月程度）は大切に保管して下さい。その他、ご質問（単位登録に関する質問も含む）は、日本泌尿器科学会へお問い合わせ下さい。（TEL：03-3814-7921）